

# ほし み 星を見よう!

2014年8月号

No.188

2014年8月2日発行

しろいしぶんか

白井市文化センター・プラネタリウム

〒270-1422 白井市復1148-8

TEL047-492-1125 Fax047-492-8016

e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp

URL: http://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/

星座の名前わかるかな?

①~⑩は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。

夜空を見上げてみましょう。

「星を見よう!」8月号の中に星座

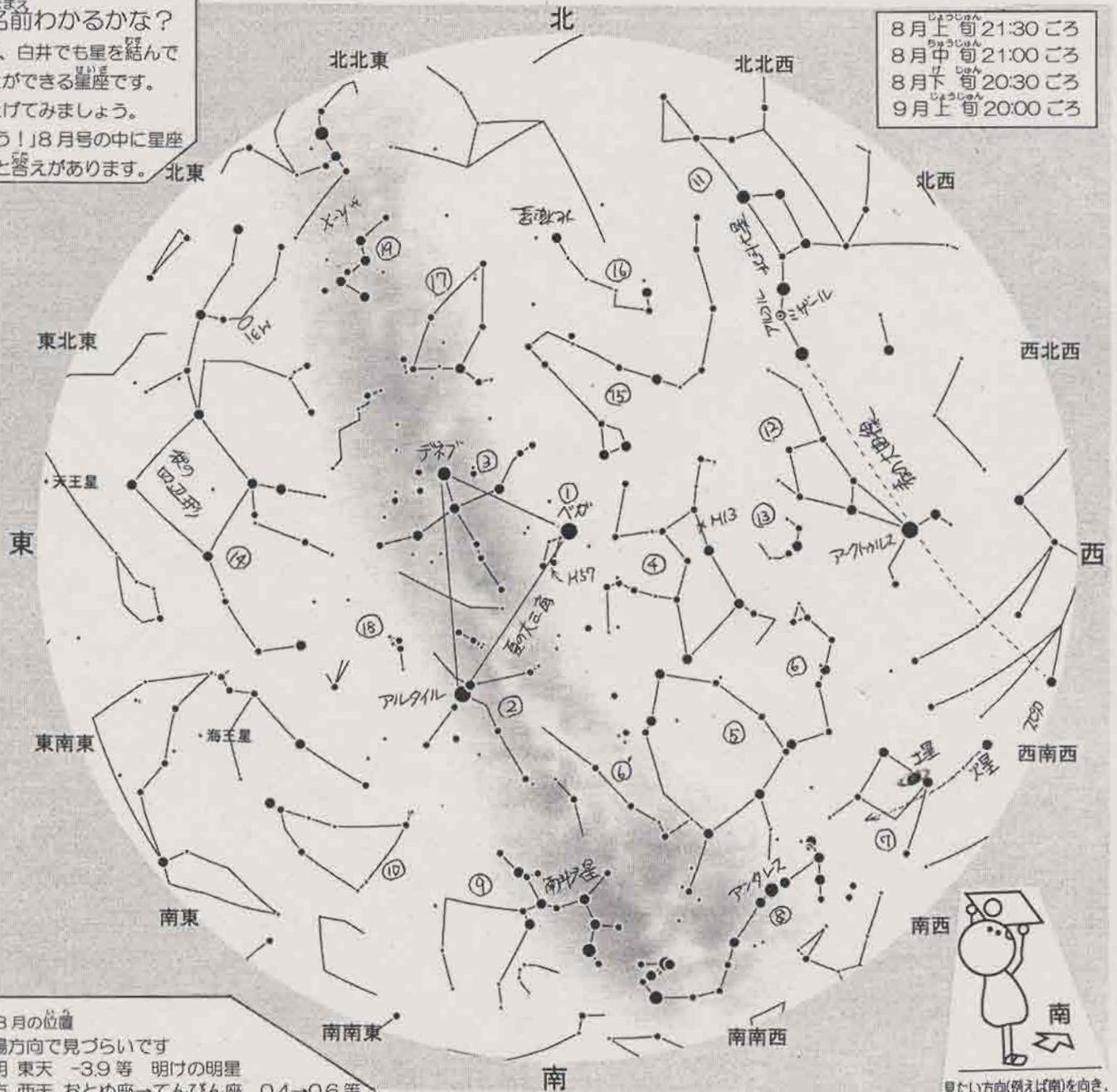
名のヒントと答えがあります。

8月上旬 21:30 ごろ

8月中旬 21:00 ごろ

8月下旬 20:30 ごろ

9月上旬 20:00 ごろ



惑星 8月の位置

水星: 太陽方向で見づらいです

金星: 未明 東天 -3.9等 明けの明星

火星: 夕方 西天 おとめ座→てんびん座 0.4→0.6等

木星: 中旬~ 明け方 東天 かに座 -1.8~2.0等

土星: 夕方 西天 てんびん座 0.3~0.4等

見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

☆ロイヤルアワー 夏休み 水~日 11:30 よもやま学園天文部 観望・月・天鏡、身近な天体たち  
9月7日から日曜日

☆一般向け放映 夏休み 水~日 13:30 今宵の星座と星物語 放映時間 約45分間  
9月6日から土・日 15:00 ふと気になる宇宙

夏休み放映 7/19(土)~8/31(日) 水~日 11:30 よもやま学園 13:30 今宵の星座 15:00 気になる宇宙

☆昼間の星を見る会 8月の星見はお休み

☆星を見る会 8月2日(土)・9月6日(土) 19:30~20:45

実際の空で星座探し + 望遠鏡で月、七夕星、火星、土星、ドーナツ星雲 他を観望

大人200円 子ども無料 雨天曇天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ

予約不要 対象小学生以上(小学生は保護者同伴) 受付: 19:10~19:30 図書館棟玄関前

☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と祝日 文化の日11月3日は開館

白井市文化センターは土日に祝日が重なったときは開館し、次の火曜日が振替休館となります。

## どせい 土星

写真 平野 岳史



・レア

2014年8月2日

・テティス

20:30の

土星の衛星の位置



・ディオネ

・タイタン

© ステラナビゲーター・Ver.10/㈱アストロアーツ/㈱アスキー



# 月にまつわる夏のトピックス

## その1 スーパームーン 8月11日(月)



最大時と最小時の2つを並べると、大きさの違いが一目瞭然でわかります。約5万kmの差!

最小(1月16日) 月までの距離 約40万7000km  
 最大(8月11日) 月までの距離 約35万7000km  
 最大になる時刻は11日未明の2:43。11日夕方では約35万7400km。なぜ、大きさに違いがでるのでしょうか?

## その2 伝統的七夕(旧七夕)は七日月が輝く

昔使っていた暦は月の形が予想できました。「7日」は、おりひめさん、ひこ星さんが天の川を渡るにふさわしい Gondola 風の船の形です。今年(2014)の伝統的七夕は8月2日(土)。ライトダウンは8月2日(土)・3日(日)の両日です。



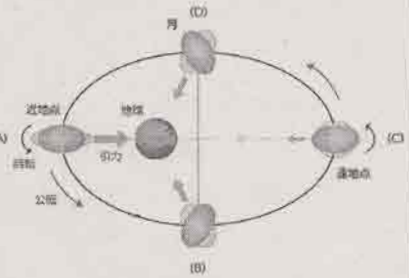
提供: ステラナビゲーターVer.10 / 天体アストロアーツ / 天体アスキー

## その3 ペルセウス座流星群 月明かりで今一つ?

毎年恒例のペルセ群。ピークは8月12日(火)~13日(水)。今年(2014)は満月過ぎの月齢17の月が一晩中輝いているので、流星を見る条件としては悪いです。しかし、ペルセ群の流れ星は、明るいものが多いので、12日夜半前から13日明け方にかけて、空を仰いでください。国立天文台では、「夏の夜、流れ星を数えよう」キャンペーンを行っています。詳しくはキャンペーンサイトへ。

## その4 今も温かい月の中!

「月は活動が終わり、内部も冷えている。」と思われていましたが、月の地下深くに軟らかい層が存在すること、さらに、その層では地球の引力(右図)によって熱が生じていることがわかりました。これは、月周回衛星「かぐや」の観測データと地球の引力によって月が変形する理論計算が一致したことによるものです。



図提供: 国立天文台 実際よりも大きく変形させて描いている

## TMT国際望遠鏡、始動!

ハワイ島マウナケア山に日本・アメリカ・中国・インド・カナダの5ヶ国の協力でTMT建設が行われます。TMTとは、Thirty Meter Telescopeそれぞれの頭文字をとったものです。口径30mの光赤外線望遠鏡で、すばる望遠鏡のように1枚の大きな鏡ではなく、492枚の鏡をつなぎ合せ、大きな反射鏡を作ります。また、巨大な望遠鏡を格納するドーム、レーザーが作る人工的な星で大気のゆらぎを補正する技術等々、最先端技術の「塊」です。詳しくは国立天文台のページへ。



イメージ図提供: 国立天文台 TMT 推進室

## 夏の星雲・星団

写真: PACNET 国立天文台  
 双眼鏡でもボ～っと白く見えます。晴天の宵の空星図を頼りに探しましょう。

### ヘルクレス座球状星団 M13



### こと座リング星雲 M57



## 今月の観望予定天体 重星連星天体

ミザール(おおぐま座) 肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。  
 アルピレオ(はくちょう座) オレンジ3等、青5等の星が寄り添うように輝きます。  
 こと座 ε 星 ダブルダブルスター  
 双眼鏡では二重星、望遠鏡で見ると四重星。二重星(ε 1、ε 2)のそれぞれがさらに二重星になっています。ε 1は5.0等と6.1等、ε 2は5.1等と5.4等の連星系。